

# 旧菓子文化会館等再整備 基本構想の策定に向けて

令和7年6月2日  
金沢市



1. 検討懇話会について
2. 旧菓子文化会館・泉鏡花記念館の概況
3. これまでの経緯
4. 現状と課題
5. 第1回会議における意見交換の論点
6. 今後のスケジュール

# 1. 検討懇話会について

## (1) 設置の目的

旧菓子文化会館と泉鏡花記念館の一体的な再整備に向けた基本構想を策定するため、学識経験者や関係団体の代表者等で構成する懇話会を設置

## (2) 検討事項

- ・施設の現況や立地特性、周辺環境等に関する事項
- ・再整備する施設の機能及び役割に関する事項

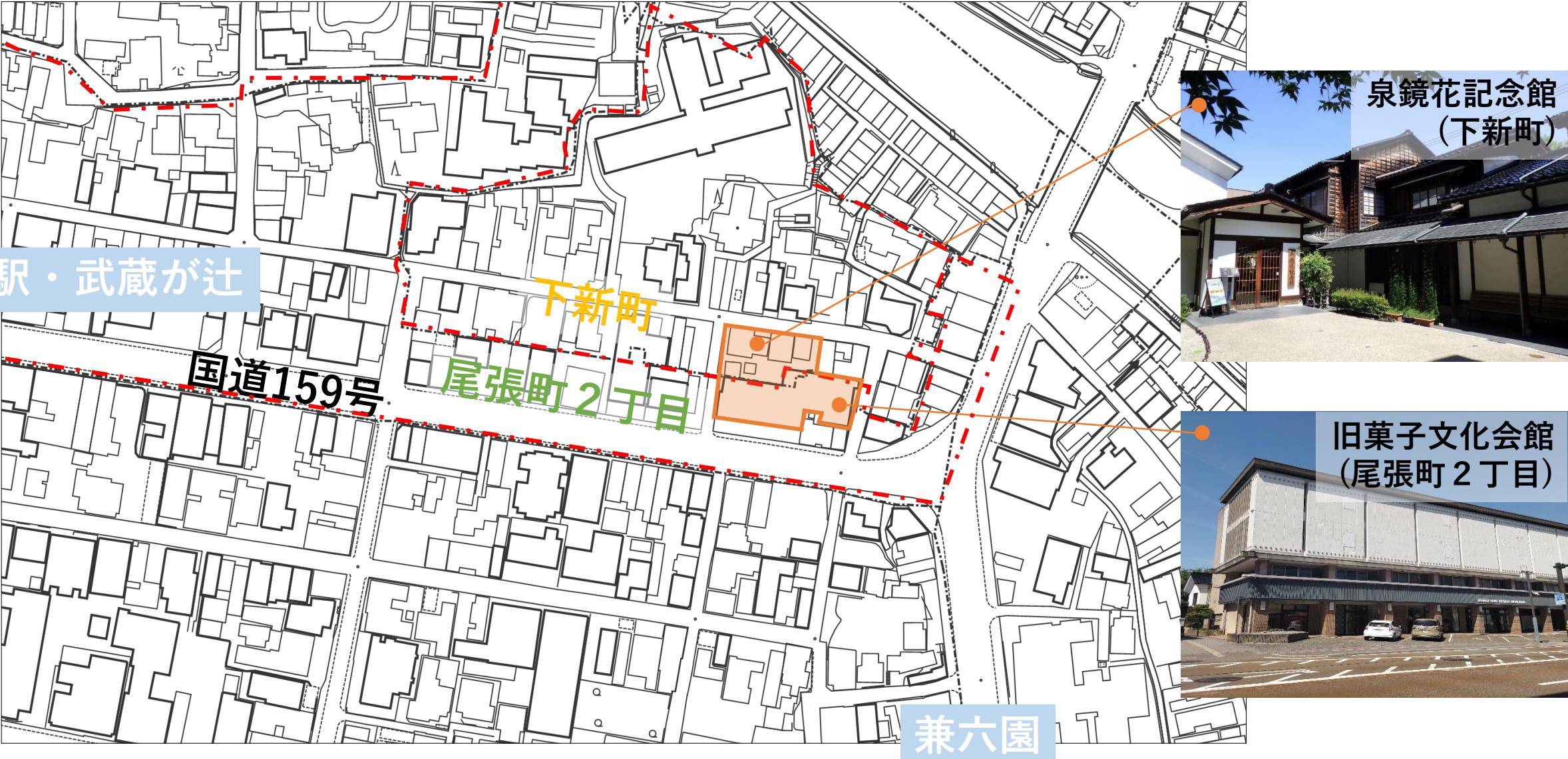
## (3) 基本構想の内容

- ・施設の基本理念
- ・求められる役割や必要な機能

など、今後の具体的、技術的な検討の基礎となる方針のとりまとめ

## 2. 旧菓子文化会館・泉鏡花記念館の概況

### (1) 位置



## 2. 旧菓子文化会館・泉鏡花記念館の概況

### (2) 地域特性

#### 尾張町

- 前田利家の出身地である尾張荒子で用命を承った町人を召寄せて住まわせたことに町名が由来
- 参勤交代の通り道のため、**店構えを大事にし**、現在でも藩政期や明治期の**老舗の建物が多く現存**



#### 下新町

- 尾張町の拡大に伴い新しく町立て
- 赤や黒の外壁や格子戸のある建物**が建ち並び、工芸品販売や染色関係等の**伝統的な業種が集積**



## 2. 旧菓子文化会館・泉鏡花記念館の概況

### (3) 歴史的背景

#### 尾張町

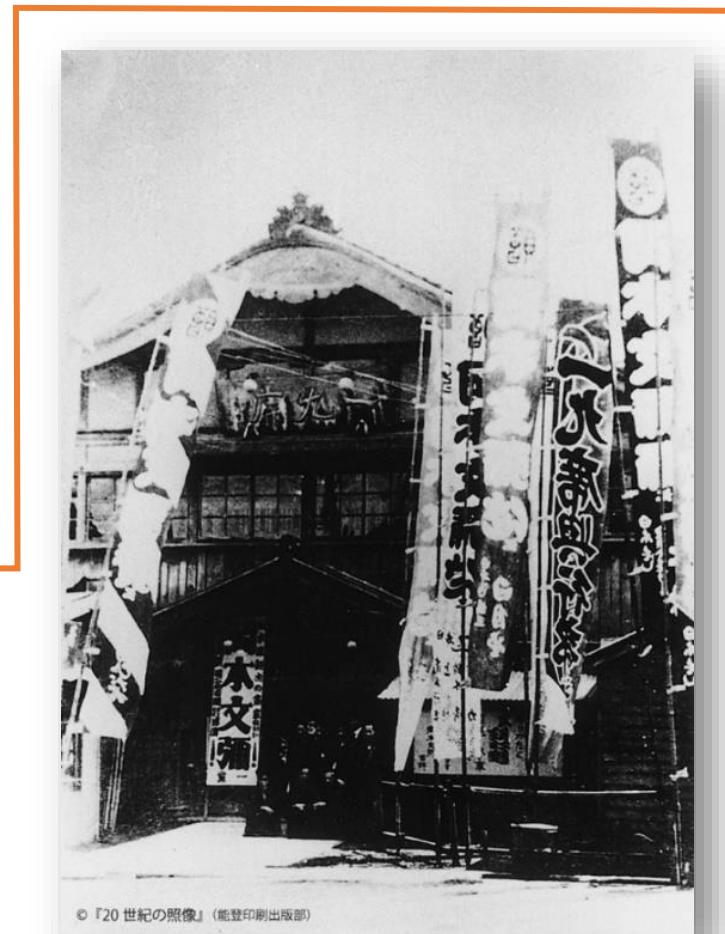
- 菓子屋や時計屋、鍛冶屋のほか、劇場、大衆芝居小屋など様々な生業が集積

#### 下新町

- 能役者や鼓師の住まいが多くあり、浅野川界隈に栄えた商業・文化活動の舞台

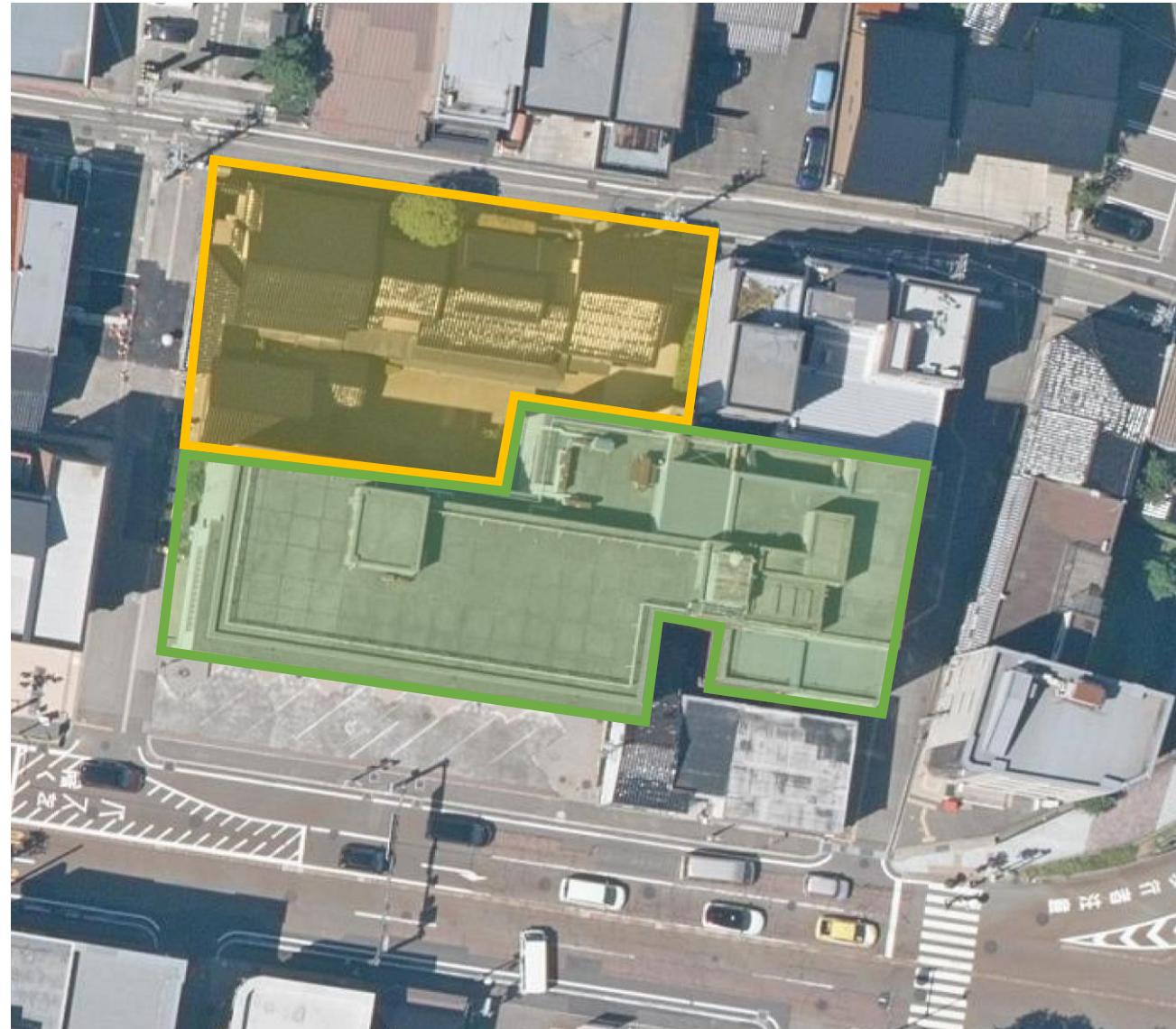
#### 寄席・一九席

- 明治27年 義太夫語り・竹本一九により下新町に開場  
 大正8年 尾張町に移転  
 昭和9年 廃業



## 2. 旧菓子文化会館・泉鏡花記念館の概況

### (4) 施設の概況



#### 泉鏡花記念館

下新町2番3号 ( $670.10\text{m}^2$ )

※明治25年に焼失した鏡花の生家の跡地  
(下新町23番地)

構造：木造2階建瓦葺 続き棟土蔵3棟

延床： $431.09\text{m}^2$

建築年：町家 昭和初期

土蔵 明治期～（詳細不明）

#### 旧菓子文化会館

尾張町2丁目8番1ほか ( $1,111.83\text{m}^2$ )

構造：鉄筋コンクリート造  
地上5階・地下1階

延床： $3,384.10\text{m}^2$

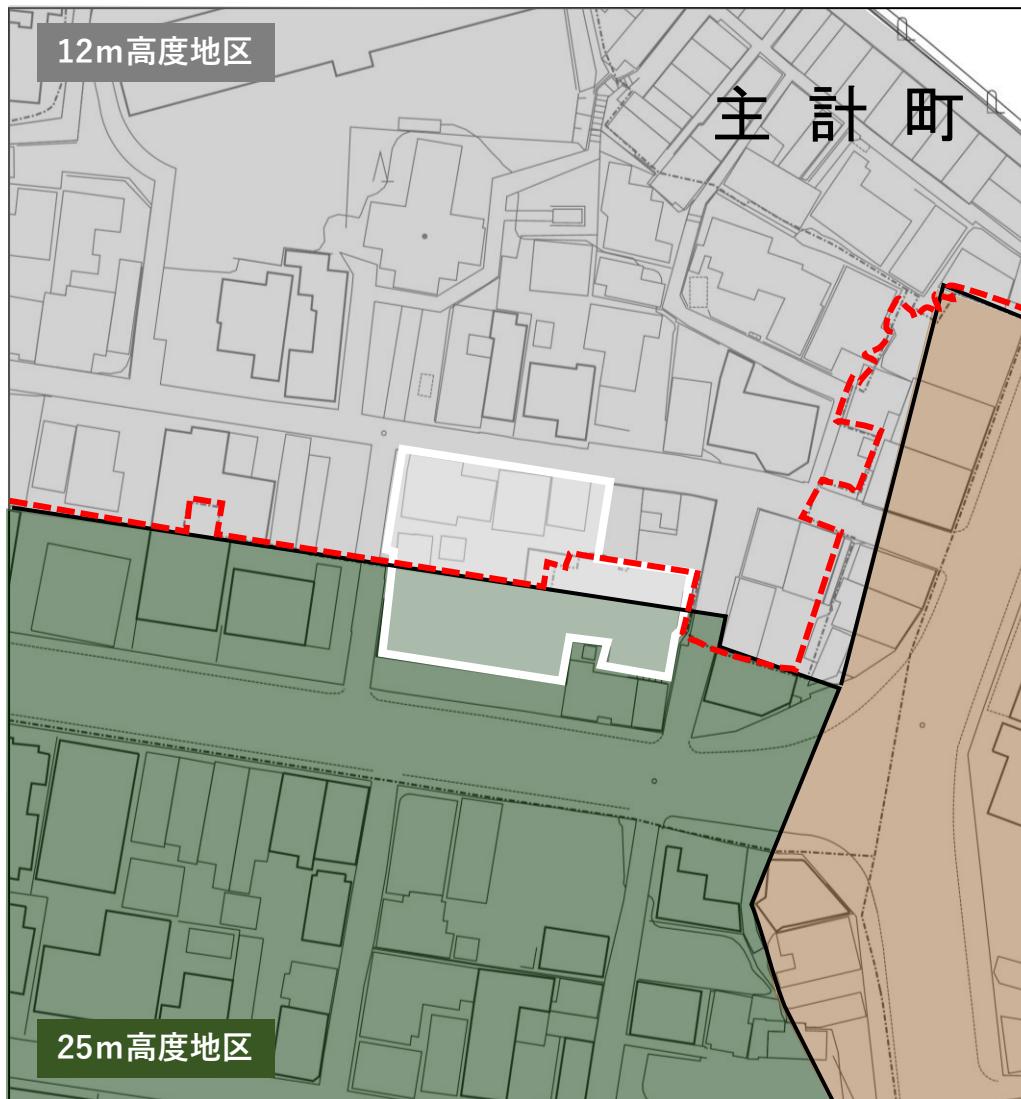
建築年：昭和41年（1966年）

※柳宗理記念デザイン研究所、  
金沢料理職人塾、倉庫として利用中

## 2. 旧菓子文化会館・泉鏡花記念館の概況

7

### (5) 法令等の状況

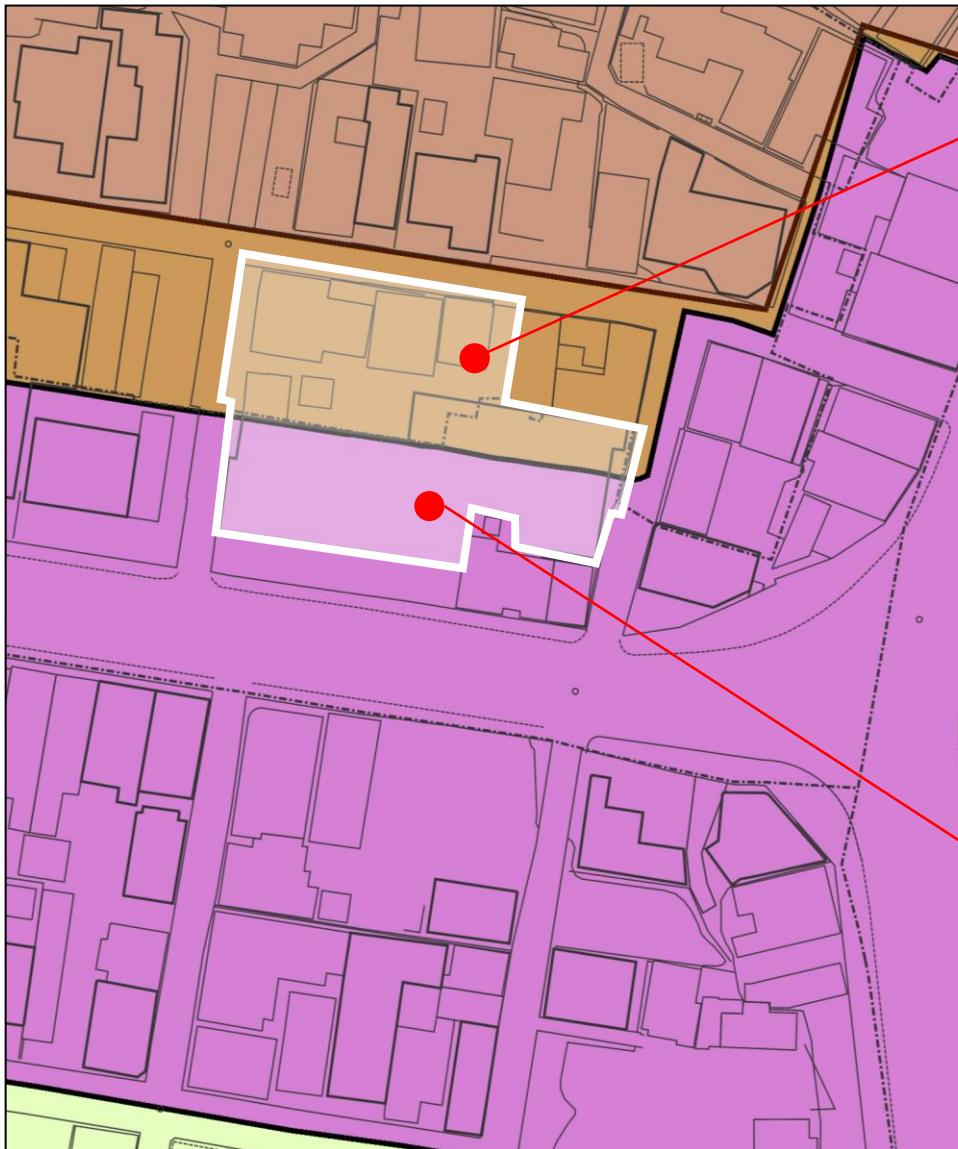


#### 都市計画関係

	旧菓子文化会館（尾張町）	泉鏡花記念館（下新町）
用途地域	商業地域（建ぺい率80%、容積率500%）	
高さ規制	25m高度地区	12m高度地区
防火地域	防火地域 (3階建て以上、または 延床面積が100m <sup>2</sup> を超える 建築物は耐火建築物)	準防火地域 (3階建て以上、または 延床面積が500m <sup>2</sup> を超える 建築物は耐火建築物または 準耐火建築物)

## 2. 旧菓子文化会館・泉鏡花記念館の概況

### (5) 法令等の状況



#### 景観政策関係

- 泉鏡花記念館（下新町）

**伝統環境保存区域（伝統的街並み区域－彦三町・尾張町地区）**

- ▶ 周辺の景観と調和した落ち着いた形態意匠とする 等

**重要文化的景観区域**

- ▶ 泉鏡花の生家跡である敷地が、  
重要文化的景観の「文化的な象徴」に指定

**金澤町家保全活用推進区域**

- ▶ 金澤町家の維持・修復に努める

**こまちなみ保存区域（町家系、旧新町区域）**

- ▶ 伝統的建造物と調和した魅力ある町並みの整備に努める  
※ 泉鏡花記念館はこまちなみ保存建造物非登録

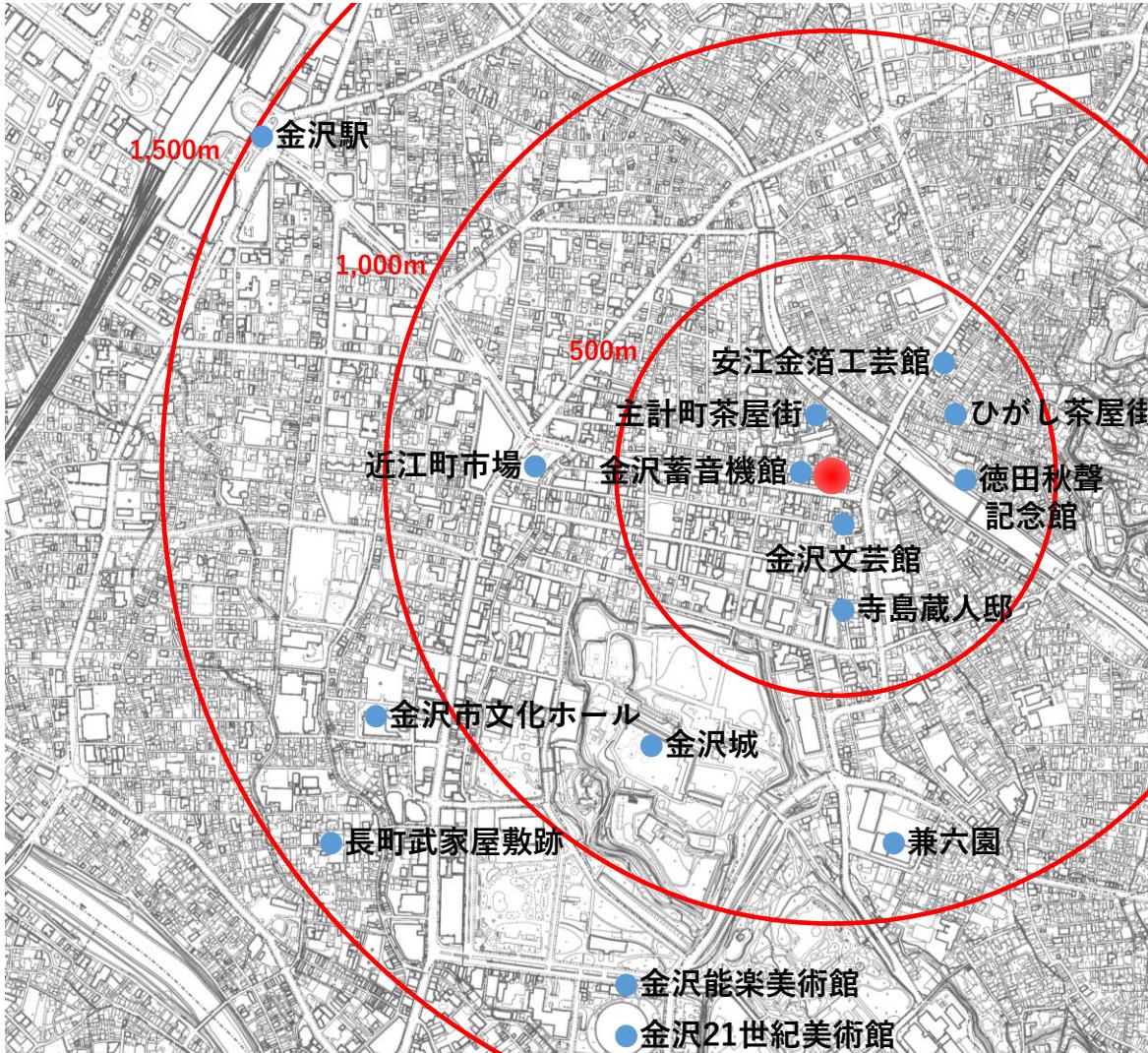
- 旧菓子文化会館（尾張町）

**伝統環境調和区域（景趣調和区域－尾張町地区）**

- ▶ 周辺の景観と調和した落ち着いた形態意匠とする 等

## 2. 旧菓子文化会館・泉鏡花記念館の概況

### (6) 立地特性



#### 歴史文化資産や文化施設が集積

- 半径1,500m内に金沢市の歴史文化資産や文化施設が数多く立地
- 近江町市場からひがし茶屋街へ至る中間点

#### 木の文化都市重点区域

##### 【木の文化都市・金沢】

まちなみや生活に幅広く「木」を取り入れ、「木」が持つ環境や人に優しいという優れた特徴をまちづくりに生かし続けることができる都市を目指す

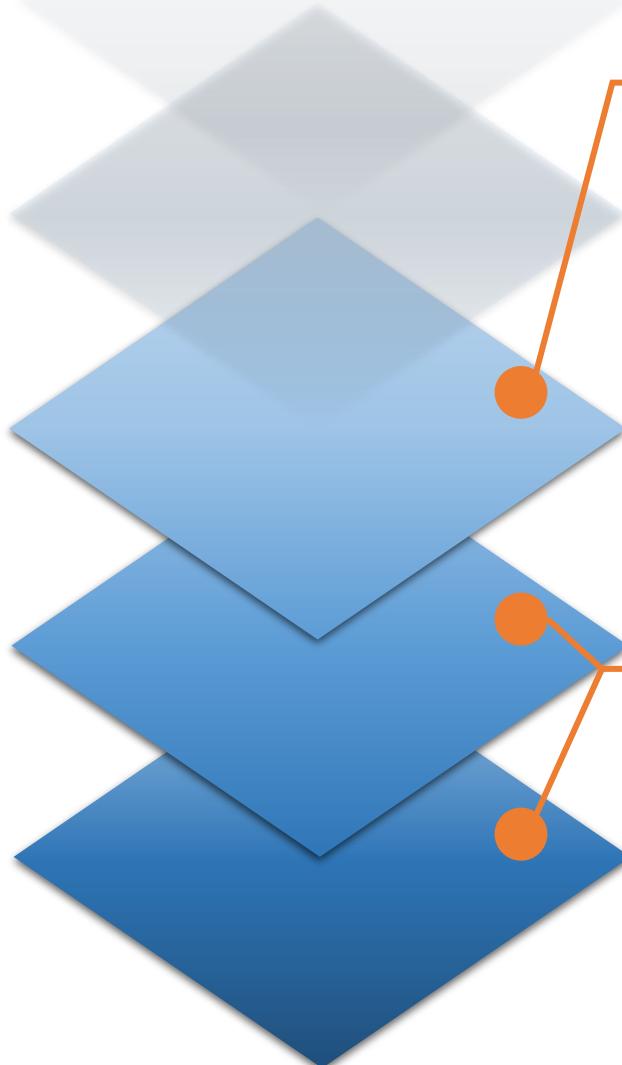
##### 【当該地の位置付け】

木の文化が特に感じられる区域をめざして木の文化都市の実現に向けた施策を重点的に展開

## 2. 旧菴子文化会館・泉鏡花記念館の概況

10

### (7) 施設の現況（旧菴子文化会館）



#### 3階（一部） 金沢料理職人塾

- ・月に1回程度利用

※その他、市役所の倉庫として利用



#### 1・2階 柳宗理記念デザイン研究所

- ・西町教育研修館を改修し、現在の機能を包含



## 2. 旧菓子文化会館・泉鏡花記念館の概況

11

### (7) 施設の現況（泉鏡花記念館）



〔土蔵の一部〕



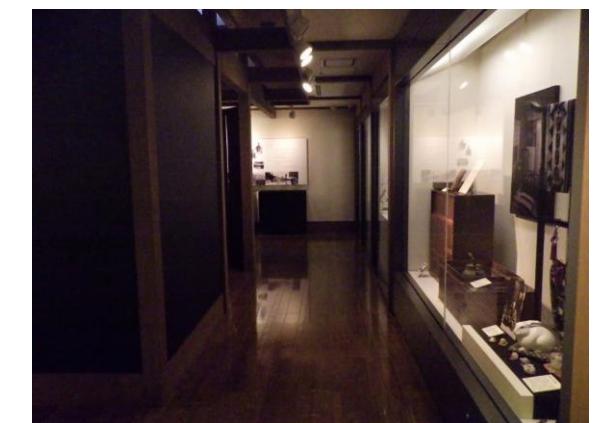
〔収蔵庫〕



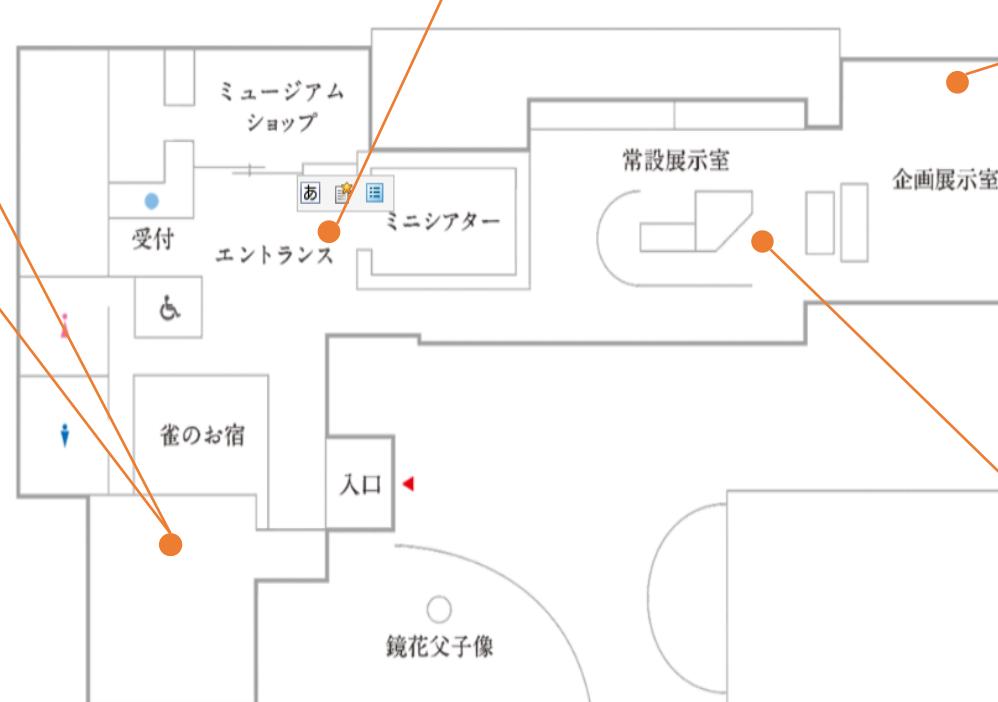
〔エントランス〕



〔企画展示室〕



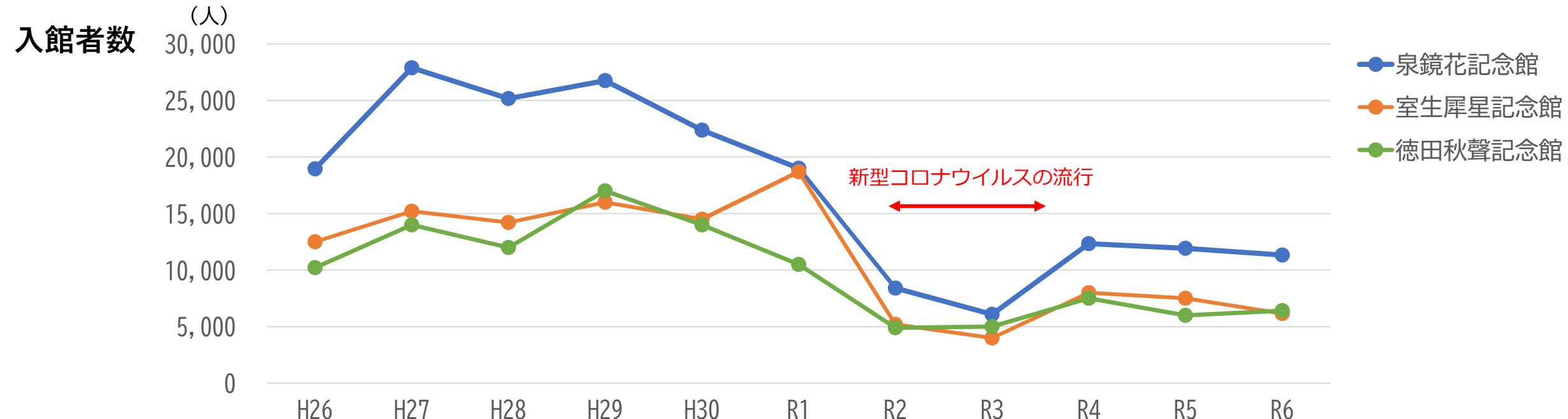
〔常設展示室〕



## 2. 旧菓子文化会館・泉鏡花記念館の概況

12

### (7) 施設の現況（三文豪施設比較）



### 施設規模

エリア	泉鏡花（改修）	室生犀星（新築）	徳田秋聲（新築）
展示	147 m <sup>2</sup>	201 m <sup>2</sup>	252 m <sup>2</sup>
収蔵	30 m <sup>2</sup>	58 m <sup>2</sup>	44 m <sup>2</sup>
管理	128 m <sup>2</sup>	113 m <sup>2</sup>	73 m <sup>2</sup>
共用	75 m <sup>2</sup>	131 m <sup>2</sup>	175 m <sup>2</sup>
合計	380 m <sup>2</sup>	503 m <sup>2</sup>	544 m <sup>2</sup>

### 3. これまでの経緯

13

#### 令和2年度

旧菓子文化会館等再整備関連

木の文化都市・金沢関連

木の文化都市重点区域として尾張町を選定

「木の文化都市を創出する金沢会議」から「木の文化都市・金沢」の実現に向けた提言

#### 令和3年度

金沢美大柳宗理デザインミュージアム（仮称）基本構想策定

#### 令和4年度

「金沢市における木の文化都市の継承と創出の推進に関する条例」施行

「木の文化都市・金沢推進計画」策定

#### 令和5・6年度

部局横断のプロジェクトチームにより利活用の可能性を検討

	立地特性	施設
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近江町市場からひがし茶屋街へ至る中間点</li> <li>・文化施設が周辺に集積</li> <li>・歴史的なまちなみや文化的景観との整合</li> <li>・木の文化都市重点区域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化</li> <li>・施設の連棟</li> <li>・展示・収蔵等のスペースが三文豪施設の中でも少ない（泉鏡花記念館）</li> </ul>

## ▼ 旧菓子文化会館と泉鏡花記念館の一体的な再整備 ▼

### 尾張町界隈の拠点性

- 回遊性の向上
- 立地特性を背景とした新たな機能の創出
- など

### 泉鏡花記念館のリニューアル

- 付加価値の高いコンテンツの充実
- 利用環境の向上
- など

### 木の文化都市・金沢

- 木の文化都市・金沢を象徴する建築物
- 歴史的なまちなみや文化的景観との整合
- など

- ・ 現状と課題についての補足事項
  - ・ 施設の基本的な方向性
  - ・ 求められる役割、必要な機能
- など

## 6. 今後のスケジュール

16

### 現地見学（5/30）

---

第1回会議（本日） 現状と課題の整理

---

第2回会議 基本構想の骨子案を提示

---

第3回会議 基本構想（案）とりまとめ

---

年度内 基本構想策定

---